

市内11の医療機関で接種可能です

高齢者インフルエンザ 予防接種の助成が始まります！

串間市では、予防接種法に基づき、インフルエンザの予防接種の助成を実施いたします。接種は義務ではありませんが、接種を希望される場合は、予防接種の効果と副反応についてご理解をされた上で接種してください。

■接種期間

令和元年10月1日(火)～令和2年1月31日(金)

■自己負担金

1400円(医療機関の窓口での支払い)

※ただし、接種対象者で生活保護世帯の方は、生活保護受給証明書を出していただければ無料

■助成対象者

- (1) 満65歳以上の方
- (2) 満60歳以上満65歳未満の方で、心臓、じん臓もしくは呼吸器の障害またはヒト免疫不全ウイルス(HIV)により免疫機能の障害を有する身体障害者1級の方

※注意事項 65歳の誕生日の前日から法定の接種の対象者となります。

・保険証

■市内の実施医療機関

予約が必要な医療機関がありますので、ご注意ください。

医療機関名	電話番号
英医院	74-1187
県南病院	72-0224
のだ小児科医院	71-1112
にいな内科・循環器科	71-1711
とめのファミリークリニック	76-1425
吾社クリニック	71-3411
串間市民病院	72-1234
中島医院	72-5202
ゆうゆうの森クリニック	55-9111
岡村クリニック	72-7710
市木診療所	77-0349

※県内であれば上記以外でも受けられる医療機関があります。



問／医療介護課 健康増進係 ☎72-0333(内線517)

経済構造の現状と課題を分析

消費等に関するアンケート 調査のご協力をお願いします

今回「地方創生マーケティング事業」の実施にあたり、経済構造の現状と課題を分析し、効果的な施策を検討するための基礎調査を行っております。その一環として、本市にお住まいの20歳以上の方を対象としたアンケート調査を実施し、消費の動向などについて把握し

たいと考えております。

アンケート調査票は地区別、年齢別に無作為に抽出した700名の皆さまにお願いしております。

アンケートが届いた皆さまには、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

●アンケートの記入にあたって

- ・アンケートは無記名で行います。ご回答いただいた内容は統計的に処理され、個別の内容については一切公表致しません。
- ・ご回答いただいた調査票は、令和元年10月16日(水)までに、同封の返信用封筒(切手不要)に入れてご投函いただきますようお願いいたします。

消費等に関するアンケート調査票(個人回答用)の記入方法

1. 回答 2. 性別 3. 年齢 4. 職業 5. 世帯収入 6. 世帯人数

7. 消費支出(1ヶ月) 8. 消費支出(1週間) 9. 消費支出(1日)

10. 消費支出(1週間)の内訳(食料、衣料、住居、娯楽、交通、通信、医療、教育、その他)

11. 消費支出(1週間)の内訳(食料、衣料、住居、娯楽、交通、通信、医療、教育、その他)

12. 消費支出(1週間)の内訳(食料、衣料、住居、娯楽、交通、通信、医療、教育、その他)

13. 消費支出(1週間)の内訳(食料、衣料、住居、娯楽、交通、通信、医療、教育、その他)

14. 消費支出(1週間)の内訳(食料、衣料、住居、娯楽、交通、通信、医療、教育、その他)

15. 消費支出(1週間)の内訳(食料、衣料、住居、娯楽、交通、通信、医療、教育、その他)

16. 消費支出(1週間)の内訳(食料、衣料、住居、娯楽、交通、通信、医療、教育、その他)

17. 消費支出(1週間)の内訳(食料、衣料、住居、娯楽、交通、通信、医療、教育、その他)

18. 消費支出(1週間)の内訳(食料、衣料、住居、娯楽、交通、通信、医療、教育、その他)

19. 消費支出(1週間)の内訳(食料、衣料、住居、娯楽、交通、通信、医療、教育、その他)

20. 消費支出(1週間)の内訳(食料、衣料、住居、娯楽、交通、通信、医療、教育、その他)

市長コラム

秋の味覚

暑かった夏が過ぎ、星の輝く夜空と、月明かりの下で奏でられる鈴虫たちの交響曲。それらに心癒やされながら秋の夜長を楽しむ。そのような気持ちのよい季節がやってきました。

過ごしやすい気候とともに楽しませてくれるのが、さまざまな旬の果物です。みかん、柿、梨、栗、ぶどうなど、秋の味覚をいただく、幸せな時

間に感謝しなければなりません。

しかしながら、本年も千葉県をはじめ各地で台風や豪雨による災害が発生しました。被害に遭われた方々には心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

最近の豪雨災害は「歴史的」「観測史上初」など、これまでとは違った、異常なものが多く感じます。災害はいつ襲ってくるかわかりません。「備えあれば憂いなし」と言うように、明日は我が身と考えて、それぞれに対策をお願い申し上げます。

この秋、一日でも多く鈴虫たちの奏でる音色を堪能できるよう祈りながら、平穏な日々感謝を捧げたいと思います。

「福島高校を育てる市民の会」 主催の講演会が開催されます

地元唯一の高校について考えてみませんか？

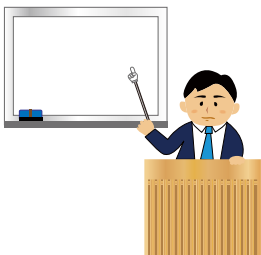
今回の講演会を通じて、串間市の地域状況や教育環境が類似している他地域での高校魅力化づくりの成功事例を学び、小中高一貫教育のさらなる推進の重要性と市行政、経済団体などが一体となった支援の在り方を共有し、福島高校を「地方創生の核」とする機運を醸成します。



早稲田大学 名誉教授 みやぐち としみち 宮口 侘迪氏

講演会の概要

- 日 時 11月6日(水) 午後6時半～8時
- 場 所 串間市文化会館 小ホール
- 内 容 「高校を「地方創生の核」として～与論高校などの事例に学ぶ～」
早稲田大学 名誉教授 宮口 侘迪氏
- 対 象
 - ・福島高校を育てる市民の会委員
 - ・市行政
 - ・学びのフィールド参加企業
 - ・福島高校教職員
 - ・小・中学校教職員
 - ・学校保護者
 - ・一般



問 / 福島高校を育てる市民の会 事務局 (串間市教育委員会 学校政策課 阿部) ☎0987-72-1111 / FAX0987-71-1015



串間産ぶどうの贈呈式(道の駅に向けた取り組みを進めています)